

自覚症状がない
大腸がん

検診で早期発見の機会見逃さずに

木暮院長の患者サポート②⑦

食生活の欧米化などにより、日本で急速に増えている大腸がん。国立がん研究センターによると、2016年の大腸がん死亡数予測は肺がんに次いで2番目に多い数字となる。そんな大腸がんについて、早期大腸がんの発見に力を注ぐ木暮クリニックの木暮悦子院長に話を聞いた。

「大腸がんは50歳過ぎから増加し始め、高齢になればなるほど多くなります。また、早期に治療すればほぼ完治するがんでもあります」と木暮院長は話す。

国立がん研究センターが昨年発表したがんの10年生存率集計によると、大腸がん1期の10年相対生存率は96・8％。IV期は10％以下となる。

早期の大腸がんは自覚症状がないことも特徴だ。大腸がんの症状に血便、便秘、便秘と下痢の繰り返しなどがあるが、これらはある程度病状が進行している状態だという。「発見の遅れが死亡者数の多さにつながっているともいえます」と木暮院長。大腸がんを早期に見するために、定期的ながん検診を受けることが肝要だという。

大腸がんの検査方法

川崎市が実施する大腸がん検診では、「免疫便潜血検査」が行われ、同クリニックも市内登録医療機関となっている。

また、便潜血検査より診

断精度が高いのが「大腸内視鏡検査」だ。同クリニックでは鎮痛剤を用いた苦痛の少ない内視鏡検査を実施。大腸ポリープの日帰り手術も行う。「不安にならず、50歳を過ぎたら積極的に内視鏡検査を受けて下さい」と木暮院長。



木暮悦子院長

昭和大学横浜市北部病院消化器センターにて工藤進英教授のもと、内視鏡技術を学んできた。「患者様から信頼される かかりつけ医」を motto に親身かつ的確な診療を行う。

木暮クリニック
KOGURE CLINIC 胃腸内科 消化器内科 内科 胃・大腸内視鏡

診療時間 月 火 水 木 金 土 日 祭
 9:00~12:00 ● ● ● ● ● ● ●
 16:00~18:00 ● ● ● ● ● ● ●

TEL.044-870-7710
http://www.kogure_clinic.jp

2713-0803 川崎市高津区下作延2-4-3 道のロメディカルモール3階

年始は7日(土)から診療

